

DX戦略

株式会社 金本組

1. 経営理念
2. ビジョン
3. DX戦略
4. DX推進体制
5. DX戦略の推進に必要な環境整備
6. DX戦略の達成状況に係る指標の設定
7. DX戦略についての情報発信

「快適・安全な土木空間を設計し、 環境の未来を創造する」

上記の経営理念は単なるスローガンではなく、日々の事業活動を通じて実現を目指している指針です。特に「快適さ」と「安全性」は、地域社会の生活基盤を支える土木事業において最重要視すべき要素と考えています。

さらに、環境保全への取り組みは、次世代への責任として欠かせないものです。

この理念には、地域に密着しながらも、持続可能な未来を創るという強い思いが込められています。

顧客一人ひとりの満足を追求し、長期的な信頼関係を築くことが私たちの使命です。

NEXT80

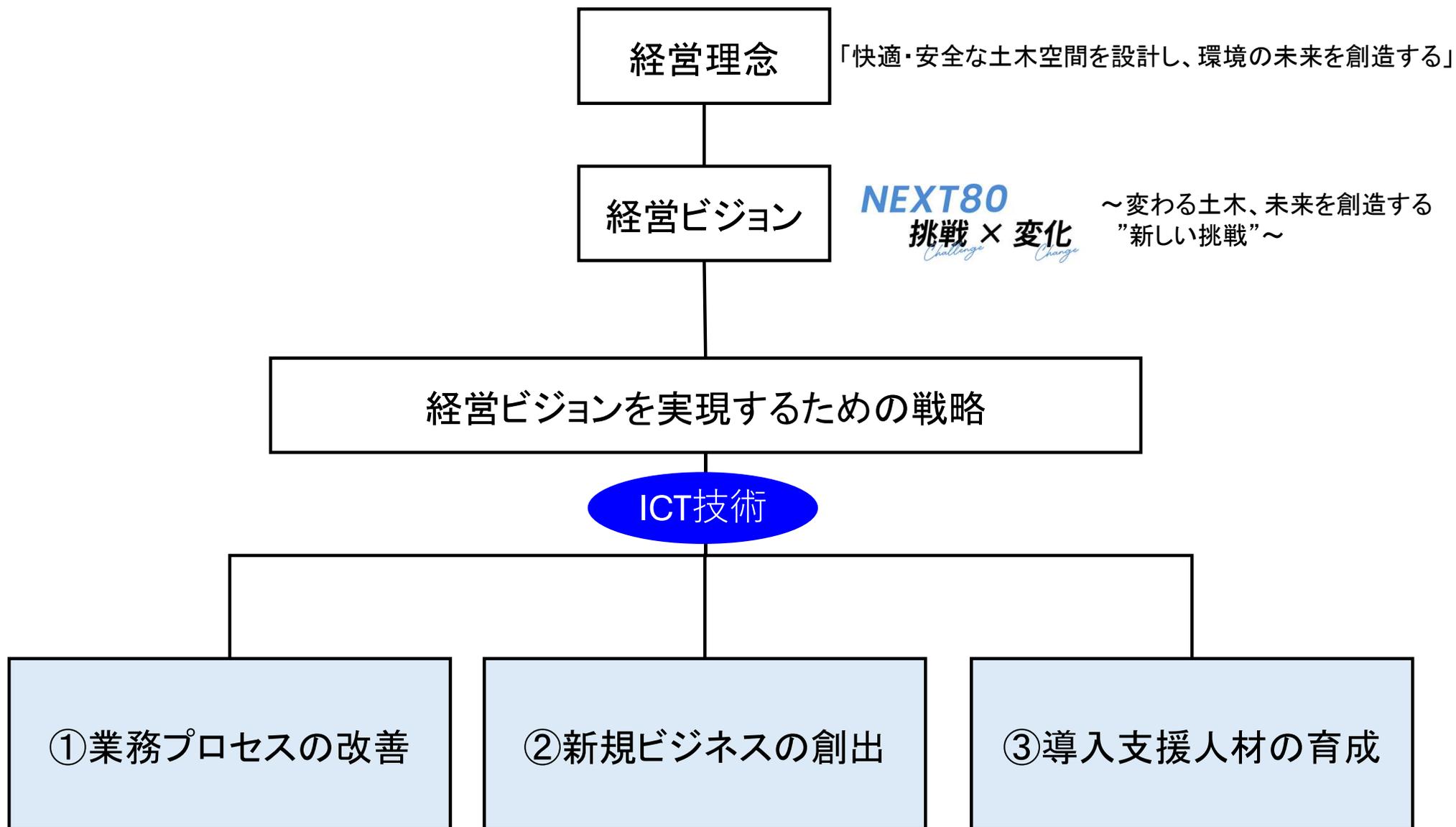
挑戦 × 変化

Challenge *Change*

～変わる土木、未来を創造する”新しい挑戦”～

当社は昭和30年より土木工事に携わってきており、2025年8月1日に70周年を迎えます。現在、我々における市場の環境は時代と共に様変わりを受け、労働力不足や長時間労働、安全性・環境適合性、さらにはコストの上昇など、幾つもの課題に直面しています。そんな環境の中、固定概念に囚われる事なく”長い間土木工事に向き合ってきた経験”と”ICTの技術”を活用し、真の現場の効率化を追求し続けることこそが、地域の守り手としての社会貢献だと考えています。そのために、これからも常に前向きな姿勢で挑戦し、少し先の未来を見据えながら成長を止めない企業であり続けます。

3. DX戦略



3. DX戦略(具体的な方策)

①業務プロセスの改善

業務のデジタル化に取り組み、そこから得られるデータを分析することにより社内業務のプロセス改善や社員の働き方改革を推進します。

また、各業務のマニュアルやICT施工の実績・ノウハウ、各人のスケジュール等についてはクラウドツールで一元化して共有することにより、従業員一人ひとりの生産性向上に繋げていきます。

その他、近い将来において重機の遠隔操作についても導入を検討しています。

②新規ビジネスの創出

当社のICT施工の実績とノウハウを業界全体の人手不足等の課題解決に繋げていくために、「建設DX推進人材育成プログラム」事業を新たに展開します。

具体的には、3D設計や測量ノウハウを、カリキュラムや受講スケジュールなどお客様に応じてオーダーメイドし、提供します。基本的な座学や考え方、リアルな実習を伴う講習まで、即時実践に活かせるカリキュラムとなっており、これからの建設の未来を担う、建設DX推進人材を育成するプログラムです。

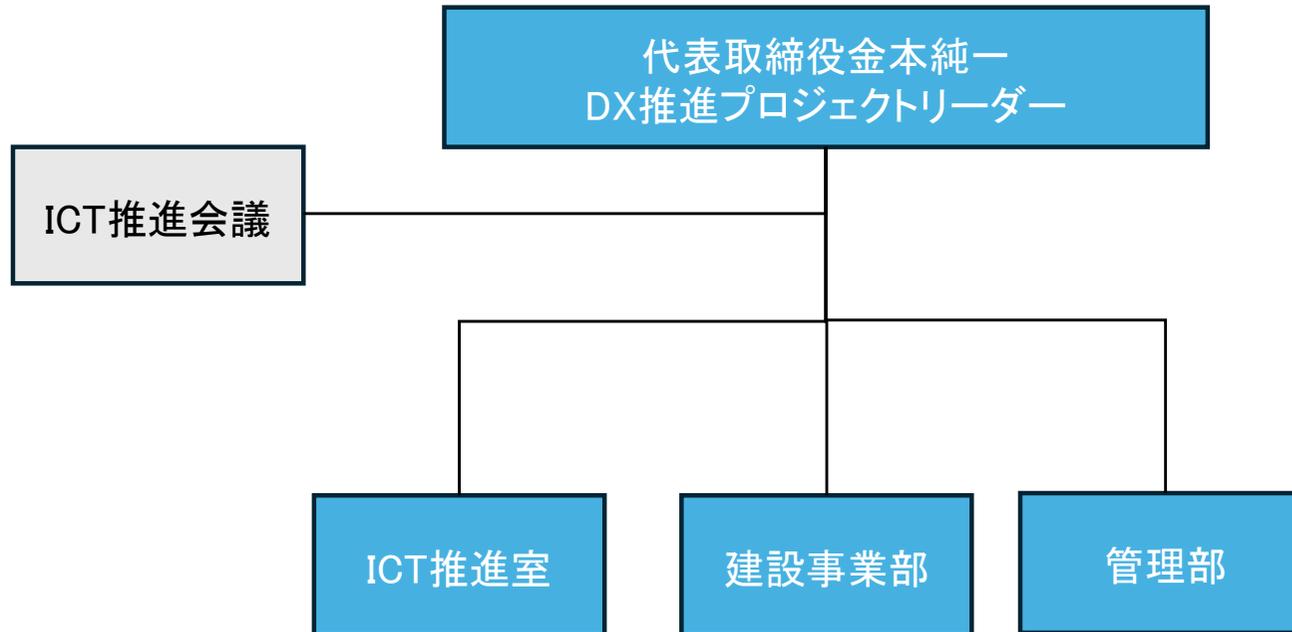
また、公共測量並びに工事測量にも着手します。従来の方法での測量ではなく、ICT機器・DX化を前提にした業務を推進することで生産性の高い事業とします。

③導入支援人材の育成

DX戦略室の担当者2名が中心となり、ICT施工に関する実践と社内外での研修を積極的に受け、自社及び他社(直接受注及び上記の新規教育事業)に展開していきます。

また、自社内で成長したICT機器を操縦するオペレーターが元請け企業とのICTに関する連携を行い、より正確でスムーズな業務を行えるようになったことから、ICT推進室の人材だけでなく、建設事業部においても同様にICT施工を推進し、展開します。

4. DX推進体制



DX推進体制として、当社は社内に専任のチーム(ICT推進室)を設け、デジタル技術の導入や業務改善に取り組んでいます。
また、DXに関するセミナーや研修を通じて、社員全体のスキル向上を図っています。

◆「NEXT80(2035年)に向けたビジョン」の実現に向け、2030年までの5年間で3つの施策(①業務プロセスの改善、②新規ビジネスの創出、③導入支援人材の育成)に対して50百万円規模の投資を計画しています。

◆具体的な投資内容としては、Web会議やプレゼンテーション、電子黒板機能等を有するデバイスの導入、ICT建機・測量機器・ソフトの導入、人材育成プログラムの開発、社外研修の受講、資格取得推進等を計画しています。

6. DX戦略の達成状況に係る指標の設定

◆KGI(重要目標達成指標)

- ①新規事業売上高:0.6億円(年)
- ②新規顧客獲得数 3件→10件(年)
- ③売上高成長率
初年度:昨年比 25,000千円増(年)
次年度:初年度比 30,000千円増(年)

※本売り上げはICT支援業務・工事測量業務・教育支援業務・DX支援業務が含まれます。

◆KPI(重要業績評価指標)

- ①年次売上高:200%成長以上
- ②ICT施工に関する外部研修への参加回数:年5回以上
- ③ICT化による作業時間削減割合:50%以上

これらの指標を通じて、デジタル技術の活用による業務改善と新規事業の成長を実現していきます。

◆TOPメッセージ

「挑戦こそが未来を切り拓く力です」

当社の代表として、私はDX戦略を単なる業務効率化の手段ではなく、会社の未来を創る礎と位置づけています。建設業界は、かつてないスピードで変化しています。その中で、私たちが生き残り、さらにはリーダーとなるためには、変化に立ち向かい、挑戦し続ける覚悟が必要です。

DX戦略は、ただ技術を導入するだけでは終わりません。デジタルの力を活用し、従業員一人ひとりの生産性を高め、働きやすい環境を構築すること、さらには新しいビジネスモデルを創出することが重要です。これは、現場の皆様と共に築き上げるべき取り組みであり、全社員が一丸となって挑むべき課題です。

当社が築いてきた70年の歴史を大切にしながらも、80周年に向けて、今こそ大きな一歩を踏み出す時です。私たちは、従業員、地域、そして業界の未来をより良くするために、全力を尽くしていきます。

〈当社のDX戦略にかける思い〉

- ・**挑む精神** : DXとは技術だけではなく、人の意識を変える挑戦です。社員全員が新しいことに挑む文化を育てます。
- ・**地域への貢献**: 私たちのDX戦略が地域社会に新しい価値を提供し、未来を創る力になると信じています。
- ・**未来への投資**: ICT施工や新しい教育プログラムを通じて、次世代を担う人材を育成します。